

目標達成計画

作成日: _____

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束について。センサーマットについては、現在5名、離床センサーは1名の方が使用されている。毎月、モニタリングを行い、必要であるかどうか振り返りを行っている。センサーマットを使用することにより、ご利用者の活動を束縛することのないよう、ご用件を伺い、思いに添えるよう努力している。危険回避のための使用ではあるが、センサーマットに頼ることなくご利用者を支えられるよう検討していきたい。	センサーマットの使用を現在の半分にする。	ご利用者の身体状況や日常生活を見直し、センサーマットに替わる代替案を模索する。ご家族にもセンサーマットによる身体拘束の意味を理解してもらえるよう、ご家族を含めた話し合いの場を設け、取り組みへの理解を得る。	6ヶ月
2		個別ケアの実践について。ご利用者一人ひとりの思いを汲み取り、ケア内容や日々の生活の中でその人らしさを大切に関わりを深めてきた。認知症を抱え生活されている中でご利用者の行動や言動に対応することが難しく職員にも迷いや不安がある。	ご利用者一人ひとりのペースで暮らしが継続できその人らしさを失うことなく尊厳をもって生活すること。	ご利用者の生活歴、生活習慣を見直し、望んでおられる生活は何であるのかをアセスメントを通して再度考えていく。センター方式を活用し、職員間での意見交換やご利用者の思いを理解し、個別ケアの実践につなげていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。